

| | | |
|---------------|----------|---------------|
| 「水産流通」 | 単 位 数 | 3 単 位 |
| | 学科・学年・学級 | 水産食品類型 第2学年C組 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | 水産物の流通に関する知識と技術を習得させ、水産物流通の意義と沿革、我が国と世界の水産物の需給動向の変化、ライフスタイルの変化、価値観の多様化などが水産物にあたえている影響、現状、今後の展望について学習する。小売商の基本形態や流通情報ネットワークについても学習する。 |
| 使用教科書・副教材等 | 文部科学省 水産流通 |

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

| 学 期 | 学 習 内 容 | 月 | 学 習 の ね ら い | 備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など) | 考 査 範 囲 |
|---|---|---|---|--|---------------------------------|
| 1 学 | 食品系について ・食品系の取り組み ・実習製品や機械 | 4 | 食品系の1年間の取り組みや実習製品や使用する機会について学習する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・科目「水産海洋基礎」の学習と関連する。 ・科目「海洋情報技術」の学習と関連する。 | 1 学 期 中 間 考 査 |
| | 水産物流通の概要 ・経済生活と流通 水産物流通の意義と沿革 水産物と流通 ・水産食品の商品特性 流通の仕組み | 5 | 今日の流通活動の特徴や実態、サービス経済化の動向や生産・消費とそれを橋渡しする流通を含めた新しい経済活動について理解する。 | | |
| | | 6 | 商品と製品について理解する。 | | |
| | | 7 | 流通の仕組みについて理解する。 | | |
| 【課題・提出物等】 | | | | | |
| 1 授業で使用するプリント・レポート | | | | | |
| 【第1学期の評価方法】 | | | | | |
| 1 <u>課題・提出物を完全に仕上げた者のみ履修したものとし、以下の通り評点を与えることとする。</u> | | | | | |
| 2 中間と期末の定期考査の成績、出席状況、プリント・ワークシート・レポートなどの提出物の内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の態度などで評価する。 | | | | | |
| 3 学期全体の評価は、概ね、中間と期末の定期考査の成績で70%、出席状況やレポートなどの提出物、授業態度・学習活動への参加の態度などで30%の配分として行う。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|----|---|--|---------------------------------|
| 第 | 水産物の流通機構 ・売買業者の種類と機能 卸売市場 水産物の流通 | 9 | 生産・消費と流通の関係および商品流通の機能、市場経済の仕組みや卸売・小売機構の機能と種類、水産物流通の基本形態、産地卸売市場と消費地卸売市場の役割、市場外流通などの流通機構について理解する。 | | 2 学 期 中 間 考 査 |
| | | 10 | | | |
| | ・物流と情報処理 | 11 | 物流における情報システム、販売時点情報管理システム(POS)、補充発注システム(EOS)、インターネットによる取引などについて理解する | | 2 学 期 期 |
| | | 12 | | | |

| | | | | |
|--|--------------------|-----------------------|-------------------------------------|----------------------------|
| | | | | 末 考 査 |
| 【課題・提出物等】 1 授業で使用するプリント・レポート | | | | |
| 【第2学期の評価方法】 1 課題・提出物を完全に仕上げた者のみ履修したものとし、以下の通り評点を与えることとする。 2 中間と期末の定期考査の成績，出席状況，プリント・ワークシート・レポートなどの提出物の内容，発表の仕方や内容，学習活動への参加の態度などで評価する。 3 学期全体の評価は，概ね，中間と期末の定期考査の成績で70%，出席状況やレポートなどの提出物，授業態度・学習活動への参加の態度などで30%の配分として行う。 | | | | |
| 第 3 学 期 | 資格試験 食品技能検定 第3類 | 水産流通の全体的な仕組みについて理解する。 | ・今まで学習してきたことは検定にも繋がります。積極的に受検して下さい。 | 3 学 期 末 考 査 |
| 【課題・提出物等】 1 授業で使用するプリント・レポート | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| 【第3学期の評価方法】 1 課題・提出物を完全に仕上げた者のみ履修したものとし、以下の通り評点を与えることとする。 2 中間と期末の定期考査の成績，出席状況，プリント・ワークシート・レポートなどの提出物の内容，発表の仕方や内容，学習活動への参加の態度などで評価する。 3 学期全体の評価は，概ね，中間と期末の定期考査の成績で70%，出席状況やレポートなどの提出物，授業態度・学習活動への参加の態度などで30%の配分として行う。 | | | | |
| 【年間の学習状況の評価方法】 「関心・意欲・態度」，「思考・判断・表現」，「資料活用 of 技能」，および「知識・理解」の4つの観点から評価した1学期の成績，2学期の成績および3学期の成績を総合し，年間の学習成績とする。 | | | | |

| | |
|---------------------|--|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ・進路希望に応じた適切な学習内容であることを認識し，積極的に取り組む。 ・関連する職業資格検定にも注意する。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ・授業はチャイムと同時に始めるので，教材・教具の準備をし，着席して待つこと。 ・欠席した場合は，級友から借りて写しておくこと。 ・机の上には，授業に必要なでないものは置かないこと。 |

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---------------|---|--|
| 関心・意欲・態度 | ・水産食品の流通について関心を持ち，その知識・技術の習得に意欲的に取り組んでいるか。 | ・授業態度 ・学習活動への参加の仕方や態度 ・ワークシートおよびレポート |
| 思考・判断 表現 | ・水産食品の流通について自ら思考を深めその問題の解決に向け，適切に判断し，創意工夫する能力を身に付け，それらを的確に表現し，水産流通を合理的に製造することができるか。 | ・定期考査 ・ワークシートおよびレポート ・授業態度（授業中の発言等） |
| 資料活用 of 技能 | ・水産食品の流通に関する技術の習得などの実践活動を行うことができるか。 | ・定期考査 ・ワークシートおよびレポート ・授業態度（授業中の発言等） |
| 知識・理解 | ・水産流通に関する知識を身に付け，水産流通を合理的に流通する意義を理解しているか。 | ・定期考査 ・小テスト |